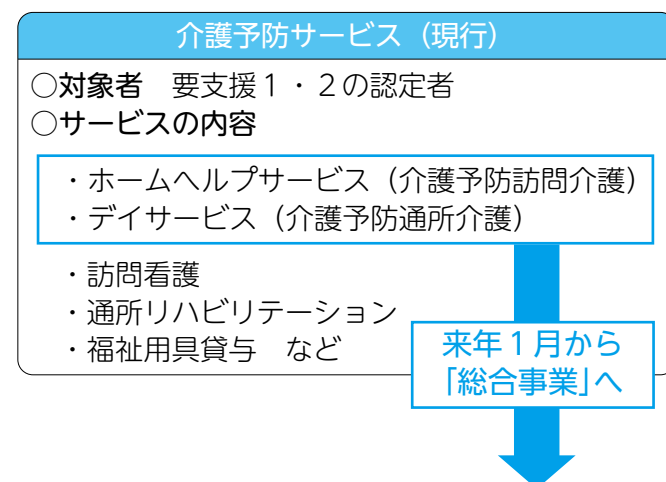


来年1月からスタート 介護予防・日常生活支援総合事業

高齢者が要介護状態となることを予防し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護保険制度に「介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）」が創設されました。市では、来年1月から同事業の運用を開始し、高齢者のニーズに即した支援の充実を図っていきます。

〈図1〉「総合事業」の創設に伴う変更内容



Point

- ・「基本チェックリスト」で対象者の認定が可能に
- ・多様な主体によるサービスを随時導入

※総合事業への移行後も、要支援1・2の認定者は「介護予防サービス」と「総合事業」の一体的な利用が可能です。

市では、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、多様な主体と連携して充実した支援が行えるよう、介護保険制度において、要支援認定を受けている方が利用している介護予防サービスの一部を、来年1月から「総合事業」へ移行します。移行に伴い、事業の枠組みが変わりますが、介護予防サービスと同事業は、こ

れまでもおり一体的な利用が可能で、内容や料金に変更はありません（図1）。
総合事業への移行でより利用しやすく

同事業のサービスのみの利用する場合は、二十五の質問により判定を行う「基本チェックリスト」で、対象者の認定が可能になるため、認定までの期間が短縮されます。
このほか、高齢者の多様なニーズに対応するため、来年四月以降、介護事業者

によるサービスに加えて、多様な主体によるサービスを随時導入します。
要となります。
※詳しくは、各地区保健福祉センターまたは地域包括支援センターへお問い合わせください。

○お問い合わせ
地域包括ケア推進課
企画係
☎22・1202

決定 第39回吉野せい賞
＝五十音順・敬称略＝

奨励賞
▷小説「紫陽花」 大田原哲哉（群馬県邑楽郡邑楽町）
▷小説「私の妹」 柄柄早（西白河郡西郷村）
▷小説「無性に浅川マキが聞きたくなる夜」 新妻和之（郷ヶ丘）
▷小説「ペット霊園」 渡辺三利（平）

青少年特別賞
▷小説「百面相」 鈴木若葉（中央台北中2年）
※吉野せい賞（正賞）の該当作品はありませんでした。

第40回吉野せい賞作品募集ポスター
▷最優秀賞＝吉田恵理（平一中3年）
▷優秀賞＝松崎春霞（平一中3年）
▷優秀賞＝宮井梨緒（中央台南中3年）

◀最優秀賞に選ばれた吉田さんの作品

平成28年秋の叙勲・褒章 第27回危険業務従事者叙勲

＝年齢は十一月三日現在。五十音順・敬称略＝

- 叙勲**
- 旭日双光章
▽田中清一郎(79)＝県商工会連合会副会長 泉もえぎ台
- 旭日単光章
▽草野一男(76)＝元市選挙管理委員会委員長 三和町渡戸
- 瑞宝双光章
▽杉山節子(70)＝調停委員 平
- 瑞宝単光章
▽小出京子(79)＝元各種統計調査員 平
- ▽四條甫(76)＝元市消防団分団長 久之浜町末続
- ▽菅本健平(77)＝民生・児童委員 内郷御厩町
- ▽中根久典(66)＝元日本郵政公社職員 平中神谷
- ▽山形忠一(74)＝元市消防団分団長 錦町
- ▽吉田光子(73)＝民生・児童
- 褒章**
- 委員 久之浜町久之浜
▽渡部一美(80)＝元国勢調査員 山田町
- ▽渡邊弘(74)＝元市消防団分団長 内郷御厩町
- 緑綬褒章**
▽久之浜・大久地域づくり協議会＝環境美化奉仕団体 久之浜町
- 黄綬褒章**
▽宇佐見進(65)＝宇佐見建設板金工業代表 平下平窪
- 危険業務従事者叙勲**
- 瑞宝双光章
▽櫛田敦(65)＝元市消防監 泉玉露
- ▽栗城晶吉(65)＝元市消防監 小川町柴原
- ▽穴戸秀夫(70)＝元県警視中央台
- 瑞宝単光章
▽遠藤博明(61)＝元3等陸尉

平成28年度 技能功労者・優良技能者表彰
＝年齢は11月1日現在。50音順・敬称略＝

技能功労者

- ▷赤間信夫(64)＝製缶 小名浜
- ▷厚海始(59)＝左官 四倉町
- ▷阿部武(67)＝調理 常磐藤原町
- ▷安齋美恵子(65)＝美容 平
- ▷伊東久一(68)＝石工 内郷高野町
- ▷内山健三(67)＝建築塗装 小名浜岡小名
- ▷岡田裕美(56)＝造園 平赤井
- ▷菊池忠二(66)＝畳製造工 勿来町
- ▷木村弘(73)＝電気工事 平
- ▷小林信明(56)＝とび工 内郷内町
- ▷佐川良夫(61)＝配管工 小名浜大原
- ▷下山田要二(67)＝左官 錦町
- ▷松本勝洋(55)＝表具 常磐下湯長谷町
- ▷皆川典滋(58)＝製パン 小名浜
- ▷本橋幸枝(67)＝理容 山田町
- ▷渡辺英二(61)＝大工 四倉町長友

優良技能者

- ▷大澤良行(39)＝造園 田人町石住
- ▷三瓶智恵美(54)＝美容 平
- ▷鈴木秀一(49)＝電工 小名浜住吉
- ▷大樂久善(35)＝建築大工 内郷内町
- ▷野木康夫(50)＝とび工 内郷御厩町

紺綬褒章
▷東洋システム株式会社＝本市への寄附（消防ポンプ自動車1台） 常磐西郷町

大臣表彰
＝年齢は10月28日現在。50音順・敬称略＝

法務大臣表彰
▷山本加子(73)＝人権擁護委員 常磐関船町

厚生労働大臣表彰（生活衛生功労者）
▷小井戸英典(60)＝県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会常務理事 常磐湯本町

▷鈴木孝一(61)＝県すし商生活衛生同業組合常務理事 中岡町

厚生労働大臣表彰（ボランティア功労者）
▷いわき手話サークル＝平中神谷
▷特定非営利活動法人ザ・ピープル＝小名浜

市女性活躍推進企業

認証制度を創設

市は、女性の登用・育成、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進など、職場における女性活躍や男女共同参画に積極的に取り組み、男女が共に働きやすい職場環境の整備などに取り組み企業等を認証する「市女性活躍推進企業認証制度」を創設しました。

認証を受けた企業等には、

市からの支援として、インセンティブ（付加価値）が付与されます。

○対象企業等

市内に本社または支店等をする事業所、公益法人および個人事業主で、次の要件などを満たすもの ①常用雇用従業員が三百人以上であること ②雇用保険適用事業所であること ③市税を滞納していないこと

認証要件

認証を受けるには、対象企業等が次の要件を満たす必要があります。

- 労働基準法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法を順守するための就業規則などを整備し、必要な措置を行っていること
 - 女性の活躍推進に関する取り組みを行っていること
 - 仕事と家庭の両立支援に関する取り組みを行っていること
 - 男女共同参画センターが指定する講座を受講していること
- ※認証要件について詳しくは、市ホームページをご覧ください。



（過年度分を含む）

○インセンティブ

- ・認証書と認証プレートの交付
- ・市男女共同参画情報紙「Wing」等での紹介
- ・女性活躍のための人材育成研修等への講師派遣など

○認証期間

認証を決定した日から三年度（申請により更新可）

○申請方法

同センターに備え付けの申請書類（市ホームページからも入手可）に、必要書類を添えて、同センターへ提出

○申請期間

来年一月四日（水）～三十一日（火）

※来年二月に認証書交付式を開催する予定です。

○お問い合わせ

男女共同参画センター

☎27・8694

中核市サミット2016inいわきを開催

10月27日、中核市市長会と本市の主催で「中核市サミット2016inいわき」を開催しました。東日本大震災後の被災地では初の開催となり、復興が進む本市の現状を広く発信する機会となりました。

当日は、全国47市の中核市のうち39市の市長や関係者など、約400人が参加し「共に創る未来へ～中核市から切り拓く『この国のかたち』～」をテーマに、人口減少の克服と地域活性化の諸施策について議論しました。

同サミットでは「中核市サミットいわき宣言」が採択され、地域防災や女性活躍、観光産業の取り組み推進を通して、地域の核となる中核市から人口減少・少子高齢化を克服し、誰もが活躍できる社会の実現に向け、連携協力することが宣言されました。

また、中核市市長会が連携して、原発事故による風評被害を払拭するため、被災地の正しい情報の発信やPRに努めることなどを盛り込んだ「福島第一原子力発電所事故の風評被害の払拭に向けた中核市市長会宣言」が採択されました。



中核市39市の市長などが本市に集結



地域防災、女性活躍、観光産業の3テーマで分科会も開催され、活発に意見を交換

こんにちは市長室から ②

次なる50年に向けて！
「人づくり」

いわき市長 清水 敏 男

本市の震災からの真の復興には、未来を担う「人づくり」が必要不可欠と考えます。

市では、震災直後から人材育成およびリーダーシップの育成を目的に、中学校の生徒会長による「生徒会長サミット」を毎年実施しています。同サミットでは、各種研修、原子爆弾の被爆地である広島市や長崎市の訪問、さらには海外への派遣事業など、多彩なプログラムを実践しています。平成26年度からは、

希望する中学生が誰でも参加できる「いわき志塾」を開塾し、各分野の第一線で活躍する方を招いて勉強会を開催するなど、幅広く「人財」の育成を図っているところです。

また、平成26年5月に完成した体験型経済教育施設「エリム」では、現在、市内全ての小学5年生と中学2年生を対象に、生きる力を育むキャリア教育を行っています。さらに、市内経済界でも同様の動きがあり、いわき商工会議所が小学5・6年生を対象に「ジュニアエコノミーカレッジ」を開学しています。

本年度は産学官が連携し、高校生や大学生も含めた「いわきアカデミア」が創設され、各世代にわたる一貫した人材育成プログラムが構築されました。これらの本市独自の取り組みは、全国から大変注目されています。

募集 地元企業をよく知るための見学会（バスツアー）の参加者

商業労政課労政係 ☎22-7478

- ▶とき 来年1月13日（金） 7時30分～19時30分（市内参加者は10時～17時30分）
- ▶内容 新宿発着、いわき駅・市役所経由の無料バスに乗り、文系・理系コースに分かれて市内企業「アルパイン（株）」「（株）くすりのマール」「東新工業（株）（文系のみ）」「ソーシャルデザインワークス（株）（理系のみ）」を見学
- ▶対象 本市で就職を希望する学生や一般求職者（市内の方も参加可）
- ▶定員 40人（応募多数の場合は抽選）
- ▶申込方法 （株）飛馬へ電話（☎38-6117）で
- ▶申込期限 来年1月10日（火）

いわき応援大使の紹介

明るく元気な本市の実現に向け、本市のPRやアドバイス・情報提供をしていただく「いわき応援大使」を、11月13日、つるの剛士さんに新たに委嘱しました。



つるの剛士さん
（俳優・タレント）

妻を生み育んでくれたいわき。そして5人の子どものうち3人がいわき生まれ。僕にとってココいわきは第二の故郷になりました。家族で帰省するたび、釣りやサーフィン、ジョギング…と、いわきの魅力を目いっぱい堪能させてもらっています。これからもいわき、そして福島復興を心から応援しています。